

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B1)

(11) 特許番号

特許第6147401号
(P6147401)

(45) 発行日 平成29年6月14日(2017.6.14)

(24) 登録日 平成29年5月26日(2017.5.26)

(51) Int.Cl.

F I

G 0 6 Q 30/06 (2012.01)

G 0 6 Q 30/06 3 1 2

G 0 6 Q 50/00 (2012.01)

G 0 6 Q 50/00 3 0 0

請求項の数 17 (全 15 頁)

(21) 出願番号 特願2016-179402 (P2016-179402)

(22) 出願日 平成28年9月14日(2016.9.14)

審査請求日 平成28年9月23日(2016.9.23)

早期審査対象出願

(73) 特許権者 503003865

寺田倉庫株式会社

東京都品川区東品川二丁目6番10号

(74) 代理人 110000752

特許業務法人朝日特許事務所

(72) 発明者 中野 善壽

東京都品川区東品川2丁目6-10 寺田
倉庫株式会社内

審査官 宮地 匡人

(56) 参考文献 特開2007-233688(JP, A
)特開2010-165048(JP, A
)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】譲渡仲介システム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

保管されている物品と保管依頼者とを登録する登録部と、

第1ユーザ端末からの要求に応じて、前記物品についての情報へアクセスするためのリンク情報であって、第2ユーザ端末からのアクセスを受け付ける第2サーバに送信するためのリンク情報を生成する生成部と、

該生成されたリンク情報を前記第1ユーザ端末に送信する送信部と

を有する仲介サーバであって、

前記第2サーバは複数の外部サーバを含み、

前記リンク情報は、当該仲介サーバのアドレスを示す文字列である第1リンク情報と、
各外部サーバに対応して生成され、前記第1ユーザ端末によって指定された一の外部サーバにて実行されると、前記第2ユーザ端末からの要求に応じて当該第2ユーザ端末を当該仲介サーバにアクセスさせるスクリプトである第2リンク情報とを含む、

ことを特徴とする仲介サーバ。

【請求項2】

前記送信部は、前記物品が譲渡可能である旨を示す情報を、前記リンク情報とともに、前記第2ユーザ端末へ送信する、

ことを特徴とする請求項1に記載の仲介サーバ。

【請求項3】

前記第2サーバは、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を提供する、

10

20

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の仲介サーバ。

【請求項 4】

第 1 サーバにおいて、保管されている物品と保管依頼者とを登録するステップと、
前記第 1 サーバにおいて、第 1 ユーザ端末からの要求に応じて、前記物品についての情報へアクセスするためのリンク情報を生成するステップと、
該生成されたリンク情報を前記第 1 ユーザ端末に送信するステップと、
前記第 1 ユーザ端末から、第 2 ユーザ端末からのアクセスを受付ける第 2 サーバに、前記リンク情報を送信するステップと
を有し、
前記第 2 サーバは複数の外部サーバを含み、
前記リンク情報は、前記第 1 サーバのアドレスを示す文字列である第 1 リンク情報と、
各外部サーバに対応して生成され、前記第 1 ユーザ端末によって指定された一の外部サーバにて実行されると、前記第 2 ユーザ端末からの要求に応じて当該第 2 ユーザ端末を前記第 1 サーバにアクセスさせるスクリプトである第 2 リンク情報とを含む、
ことを特徴とする仲介方法。

10

【請求項 5】

前記第 1 サーバが、前記第 2 ユーザ端末からの要求に応じて、前記物品の譲渡の依頼があったことを前記第 1 ユーザ端末に通知するステップと、
前記第 2 ユーザ端末から前記第 1 サーバに、前記物品の配送先を送信するステップと、
前記第 1 サーバが、前記第 1 ユーザ端末からの要求に基づいて、配送管理サーバに対し、前記物品を保管場所から前記配送先に配送するよう依頼するステップと
を更に有する
ことを特徴とする請求項 4 に記載の仲介方法。

20

【請求項 6】

仲介サーバのコンピュータに、
保管されている物品と保管依頼者とを登録するステップと、
第 1 ユーザ端末からの要求に応じて、前記物品についての情報へアクセスするためのリンク情報を生成するステップと、
該生成されたリンク情報を前記第 1 ユーザ端末に送信するステップと、
前記第 1 ユーザ端末から、第 2 ユーザ端末からのアクセスを受付ける第 2 サーバに、前記リンク情報を送信するステップと
を実行させるためのプログラムであって、
前記第 2 サーバは複数の外部サーバを含み、
前記リンク情報は、前記仲介サーバのアドレスを示す文字列である第 1 リンク情報と、
各外部サーバに対応して生成され、前記第 1 ユーザ端末によって指定された一の外部サーバにて実行されると、前記第 2 ユーザ端末からの要求に応じて当該第 2 ユーザ端末を前記仲介サーバにアクセスさせるスクリプトである第 2 リンク情報とを含む、
ことを特徴とするプログラム。

30

【請求項 7】

前記第 2 ユーザ端末からの要求に応じて、前記物品の譲渡の依頼があったことを前記第 1 ユーザ端末に通知するステップと、
前記第 2 ユーザ端末から、前記物品の配送先を受信するステップと、
前記仲介サーバが、前記第 1 ユーザ端末からの要求に基づいて、配送管理サーバに対し、前記物品を保管場所から前記配送先に配送するよう依頼するステップと
を更に実行させる、
ことを特徴とする請求項 6 に記載のプログラム。

40

【請求項 8】

前記第 2 ユーザ端末からの要求に応じて、前記物品の譲渡の依頼があったことを前記第 1 ユーザ端末に通知する通知部と、
前記第 2 ユーザ端末から、前記物品の配送先を受信する受信部と、

50

前記第 1 ユーザ端末からの要求に基づいて、配送管理サーバに対し、前記物品を保管場所から前記配送先に配送することを依頼する依頼部と

を更に有する

ことを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれか一つに記載の仲介サーバ。

【請求項 9】

前記仲介サーバは、前記物品の譲渡の依頼を、前記第 2 サーバを介して受信する、ことを特徴とする請求項 8 記載の仲介サーバ。

【請求項 10】

前記仲介サーバは、前記第 1 ユーザ端末と前記第 2 ユーザ端末との間で取引が成立したことを確認すると、前記配送管理サーバへの依頼を実行する、

ことを特徴とする請求項 8 または 9 に記載の仲介サーバ。

【請求項 11】

前記仲介サーバは、前記第 2 ユーザ端末から希望購入価格を受信すると、前記第 1 ユーザ端末に当該希望購入価格を通知し、

前記第 1 ユーザ端末から前記依頼の諾否を表す情報を受付けると、該受信した情報に基づいて前記取引の成否を判定する、

ことを特徴とする請求項 10 に記載の仲介サーバ。

【請求項 12】

前記仲介サーバは、

前記第 1 ユーザ端末から希望販売価格を受信すると、前記第 2 ユーザ端末に当該希望販売価格を受信し、

前記希望販売価格と前記希望購入価格とに基づいて前記取引の成否を判定する、

ことを特徴とする請求項 11 に記載の仲介サーバ。

【請求項 13】

前記第 1 ユーザ端末は、前記希望購入価格の受信後に前記希望販売価格を送信する、

ことを特徴とする請求項 12 に記載の仲介サーバ。

【請求項 14】

前記仲介サーバは、前記希望販売価格を前記第 2 ユーザ端末に送信することによって、前記第 2 ユーザ端末のユーザに前記希望購入価格の再指定を促す、

ことを特徴とする請求項 12 または 13 に記載の仲介サーバ。

【請求項 15】

前記仲介サーバは、ユーザ情報を記憶する記憶部をさらに備え、

前記仲介サーバは、同一の物品に関して、複数の前記第 2 ユーザ端末から当該物品の譲渡の依頼を受けた場合、前記ユーザ情報に基づいて、前記取引を成立させる一の前記第 2 ユーザ端末を決定する、

ことを特徴とする請求項 10 ~ 13 のいずれか一つに記載の仲介サーバ。

【請求項 16】

前記仲介サーバは、前記物品の譲渡に係る費用の決済処理を実行する決済処理部を更に有する

ことを特徴とする請求項 8 ~ 15 のいずれか一つに記載の仲介サーバ。

【請求項 17】

前記仲介サーバは、前記第 2 ユーザ端末から、ユーザの属性および当該ユーザについての過去の取引の履歴のうち少なくともいずれかを取得し、該取得した属性および履歴のうち少なくともいずれか一つに基づいて、取引の成否を判定する

ことを特徴とする請求項 1 ~ 3、8 ~ 16 のいずれか一つに記載の仲介サーバ。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、保管されている物品の譲渡の仲介に関する。

【背景技術】

10

20

30

40

50

【 0 0 0 2 】

いわゆるオークションサイト等を介して、ユーザ同士が中古品などの物品の売買を行う取引形態がある（特許文献 1）。

【 先行技術文献 】

【 特許文献 】

【 0 0 0 3 】

【 特許文献 1 】 特開 2 0 1 5 - 5 0 6 4 号公報

【 発明の概要 】

【 発明が解決しようとする課題 】

【 0 0 0 4 】

10

文献 1 に記載の技術では、ユーザが販売の依頼（出品）を行う際、販売対象の物品についての情報の入力を行う必要があり、手間であった。加えて、取引成立後、物品の引渡しを実行するために、取引当事者のユーザが配送伝票を作成して配送業者に配送を依頼する必要があった。この際、住所や氏名といった送り主または送り先を見ず知らずの取引相手に開示することになり、個人情報の漏えいの虞もあった。

本発明は、ユーザ間で行われる物品の取引を支援することを目的とする。

【 課題を解決するための手段 】

【 0 0 0 5 】

本発明は、一の態様において、保管されている物品と保管依頼者とを登録する登録部と、第 1 ユーザ端末からの要求に応じて、前記物品についての情報へアクセスするためのリンク情報であって、第 2 ユーザ端末からのアクセスを受付ける第 2 サーバに送信するためのリンク情報を生成する生成部と、該生成されたリンク情報を前記第 1 ユーザ端末に送信する送信部とを有する仲介サーバであって、前記第 2 サーバは複数の外部サーバを含み、前記リンク情報は、当該仲介サーバのアドレスを示す文字列である第 1 リンク情報と、各外部サーバに対応して生成され、前記第 1 ユーザ端末によって指定された一の外部サーバにて実行されると、前記第 2 ユーザ端末からの要求に応じて当該第 2 ユーザ端末を当該仲介サーバにアクセスさせるスクリプトである第 2 リンク情報とを含むことを特徴とする仲介サーバを提供する。

20

本発明は、他の態様において、第 1 サーバにおいて、保管されている物品と保管依頼者とを登録するステップと、前記第 1 サーバにおいて、第 1 ユーザ端末からの要求に応じて、前記物品についての情報へアクセスするためのリンク情報を生成するステップと、該生成されたリンク情報を前記第 1 ユーザ端末に送信するステップと、前記第 1 ユーザ端末から、第 2 ユーザ端末からのアクセスを受付ける第 2 サーバに、前記リンク情報を送信するステップとを有し、前記第 2 サーバは複数の外部サーバを含み、前記リンク情報は、前記第 1 サーバのアドレスを示す文字列である第 1 リンク情報と、各外部サーバに対応して生成され、前記第 1 ユーザ端末によって指定された一の外部サーバにて実行されると、前記第 2 ユーザ端末からの要求に応じて当該第 2 ユーザ端末を前記第 1 サーバにアクセスさせるスクリプトである第 2 リンク情報とを含む、ことを特徴とする仲介方法および当該仲介方法を実行するためのプログラムを提供する。

30

【 0 0 0 6 】

40

本発明によれば、ユーザ間で行われる物品の取引が支援される。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 0 7 】

【 図 1 】 仲介システム 1 0 の概略図。

【 図 2 】 仲介サーバ 3 0 0 の機能ブロック図。

【 図 3 】 仲介システム 1 0 の動作例。

【 図 4 】 物品保管中に仲介サーバ 3 0 0 にアクセスした場合にユーザ端末 1 0 0 の画面に表示される内容の例。

【 図 5 】 リンク情報の生成完了時にユーザ端末 1 0 0 の画面に表示される内容の例。

【 図 6 (a) 】 SNS サーバ 4 0 0 にアクセスしたときにユーザ端末 9 0 0 の画面に表示

50

される内容の例。

【図6(b)】SNSサーバ400を介して仲介サーバ300にアクセスしたときに、ユーザ端末900の画面に表示される内容の例(その1)。

【図6(c)】SNSサーバ400を介して仲介サーバ300にアクセスしたときに、ユーザ端末900の画面に表示される内容の例(その2)。

【図7】購入希望者が現れたときにユーザ端末100の画面に表示される内容の例(その1)。

【図8】購入希望者が現れたときにユーザ端末100の画面に表示される内容の例(その2)。

【図9】ユーザ端末900の画面に表示される内容の例。

10

【図10】取引が成立したときにユーザ端末100の画面に表示される内容の例。

【図11】ユーザ端末900の画面に表示される内容の例。

【発明を実施するための形態】

【0008】

図1は仲介システム10の概略図である。仲介システム10は、ユーザ端末100と、配送管理サーバ200と、仲介サーバ300と、倉庫端末500-1、500-2、500-3と、SNSサーバ400-1および400-2と、ユーザ端末900とを含む。

【0009】

ユーザ端末100および900は、パーソナルコンピュータや携帯端末等の汎用の情報処理装置であって、ネットワーク700を介して仲介サーバ300およびSNSサーバ400にアクセスする機能を有する。具体的には、ユーザ端末100には、汎用のウェブブラウザや専用のソフトウェアなど、各SNSサーバ400へアクセスしてSNSサーバ400の機能を利用するために必要なアプリケーションプログラムが予めインストールされている。ここでは、ユーザ端末100は保管物品の所有者によって操作され、ユーザ端末900は保管物品の購入希望者によって用いられるものと仮定する。ユーザ端末100やユーザ端末900のハードウェアの仕様は、同一でもよいし異なってもよい。また、説明の便宜上、ユーザ端末100およびユーザ端末900はそれぞれ一つのみ示しているが、複数のユーザ端末100やユーザ端末900が仲介システム10を構成していてもよい。

20

【0010】

30

仲介サーバ300は、例えば倉庫端末500の管理者やサービス運営者によって運用され、保管対象の物品についての情報を管理するとともに、ユーザ端末100およびユーザ端末900との間における保管物品の譲渡を仲介(あっせん)する。なお、譲渡は有償・無償を問わない。

【0011】

各倉庫端末500は、倉庫ごとに設けられ、当該倉庫の従業員によって操作される。なお、各倉庫端末500は物理的に独立してもよいし、一つの建物内部に設けられた複数の保管区域のうちの一つであってもよい。同図では仲介サーバ300と各倉庫端末500とは専用線にて接続されているが、ネットワーク700を介して接続されてもよい。図1に示す倉庫端末500の数は例示である。

40

【0012】

配送管理サーバ200は、例えば配送業者によって運営されるサーバであって、配送の受付、発送車や配送員の手配、集荷、配送、配送対象の物、配送に係る費用、その他配送に関する情報の一切を管理する。

【0013】

各SNSサーバ400は、Facebook(登録商標)、Twitter(登録商標)、Instagram(登録商標)など、ブログ、ミニブログ、画像共有サイトなど、ユーザ同士の交流や情報の発信や共有を目的とした、いわゆるソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)といわれるサービスを提供するサーバである。ユーザはSNSサーバ400が提供する機能を利用して、特定または不特定の他人に対して、情報の発信や閲覧を行う。なお、図示

50

されているSNSサーバ400の数は例示である。

【0014】

図2は仲介サーバ300の機能ブロック図である。仲介サーバ300は、情報処理部310と、通信部320と、記憶部330とを含む。

【0015】

記憶部330は、ハードディスクや半導体メモリ等の記憶装置であって、制御部319にて実行されると上述の機能を実現するプログラムのほか、登録部311にて参照される保管物に関する情報、ユーザ認証部312または制御部319にて参照されるユーザ情報を含む。

保管物に関する情報には、例えば、保管物を紹介するテキスト情報や画像情報、保管依頼を受信したタイミング、倉庫への搬入や倉庫からの搬出が行われたタイミングについての、倉庫端末500から取得した情報、保管の状態（保管期間など）、保管物に対する取引の状況（譲渡対象となっているか、取引が成立しているか否かなど）が含まれる。

ユーザ情報とは、ユーザ端末100およびユーザ端末900のユーザが仲介サーバ300の保管管理機能やあっせん機能を利用するために必要な情報（ユーザIDやパスワードなどログイン情報や決済情報など）、住所・氏名・年齢・性別等のユーザの属性、ユーザが仲介システム10を利用した履歴についての情報（過去に預けた物品、時期、数、物品の種類、等、販売依頼の内容、購入依頼の内容）を含む。

【0016】

通信部320は、有線または無線によって、ユーザ端末100、ユーザ端末900、SNSサーバ400と通信を行うための通信インタフェースとして実装され、第1通信部329と、応答受付部323と、第2通信部324とを含む。

【0017】

第1通信部329は、送信部321、通知部322、応答受付部323を含み、ユーザ端末100と通信を行う。送信部321は、生成部313にて生成されたリンク情報をユーザ端末100に送信する。通知部322は、ユーザ端末900からの要求に応じて、物品の譲渡の依頼があったことをユーザ端末100に通知する。また、通知部322は、ユーザ端末100にユーザ端末900から受信した希望購入価格を通知する。応答受付部323は、ユーザ端末100から依頼の諾否を表す情報を受付けると、制御部319に供給する。応答受付部323は、1以上のSNSサーバ400の指定をユーザ端末100から受付けると、当該SNSサーバ400に所定の情報がアップロードされるように、該SNSサーバ400にスクリプトの実行を要求する。

【0018】

第2通信部324は、ユーザ端末900と通信を行う。具体的には、ユーザ端末900から物品の配送先、希望購入価格、および決済情報を受信して制御部319に供給する。

第3通信部325は、配送依頼部314にて生成されたデータを配送管理サーバ200に送信する。

【0019】

情報処理部310は、1以上の汎用または専用のプロセッサおよびメモリとして実装され、生成部313と、ユーザ認証部312と、登録部311と、配送依頼部314と、決済処理部315と、制御部319とを含む。制御部319は、仲介サーバ300の全体を制御するとともに、所定のアルゴリズムを用いてユーザ端末100とユーザ端末900との間で譲渡の取引が成立したか否かを判定する。制御部319において取引成立と判定されると、配送依頼部314に必要な情報を供給する。

【0020】

ユーザ認証部312は、制御部319の制御の下、ユーザ端末100およびユーザ端末900のユーザについての、認証や登録を行う。

【0021】

生成部313は、制御部319の制御の下、ユーザ端末100およびユーザ端末900に提供するためのコンテンツを生成する。ユーザ端末100に提供されるコンテンツには

10

20

30

40

50

、保管されている物品や保管状況等についての情報のほか、販売のあっせんを支援するための情報が含まれる。一方、ユーザ端末 900 に提供されるコンテンツには、販売のあっせんを支援するための情報が含まれる。ユーザ端末 100 およびユーザ端末 900 に提供されるコンテンツは、保管されている物品についての情報の提供、購入希望または販売希望の受付、あっせんの状況を確認、あっせん条件の指定の受付などを行うためのユーザインタフェースとして機能する。

【0022】

具体的には、生成部 313 は、保管物品の販売依頼を行ったユーザ端末 100 からの要求に応じて、当該保管物品についての情報にアクセスするためのリンク情報であって、ユーザ端末 900 からのアクセスを受付けてユーザ端末 900 にコンテンツを提供する機能を有する SNS サーバ 400 へ送信するためのリンク情報を生成する。リンク情報は、例えば、仲介サーバ 300 内のアドレスを示す文字列であって、ユーザ端末 900 または SNS サーバ 400 にて実行されるとユーザ端末 900 からの要求に応じてユーザ端末 900 を仲介サーバ 300 にアクセスさせるスクリプトである。コンテンツは、例えば HTML で記述される。この場合、リンク情報は、例えば、仲介サーバ 300 が設定したウェブページの URL（短縮 URL を含む、以下同じ）である。

コンテンツが HTML データである場合、リンク情報は、例えば、HTML タグ自体や、HTML タグやリンクタグ等からなるスクリプトである。このスクリプトは、SNS サーバ 400 への情報のアップロードのプロセスを自動的にまたは一部自動的に実行する。

【0023】

登録部 311 は、制御部 319 の制御の下、保管されている物品および保管場所を特定する。

配送依頼部 314 は、ユーザ端末 100 からの要求に基づいて、配送管理サーバ 200 に対し、物品を保管場所から配送先まで配送することを依頼する。具体的には、制御部 319 から取得した配送先についての情報に基づいて、配送管理サーバ 200 が要求するフォーマットに従ったデータを生成する。

決済処理部 315 は、図示せぬクレジットカード会社等のサーバと接続し、ユーザ端末 100 およびユーザ端末 900 との間でなされた取引に係る決済処理を実行する。

【0024】

図 3 は仲介システム 10 の動作例を示す。ユーザ端末 100 のユーザは、ユーザ登録を済ませた後、物品の保管の依頼を仲介サーバ 300 に送信する（S102）。

仲介サーバ 300 は、保管物に関する情報を配送管理サーバ 200 に提供し、仲介サーバ 300 が指定した倉庫に配送するなどの処理を経て、倉庫端末 500 から入庫完了の通知を受け取ると（S104）、当該ユーザ用に設定されたコンテンツ（以下、「管理ページ」という）に当該通知を反映させることによってコンテンツを更新する（S106）。仲介サーバ 300 は、ユーザ端末 100 からの要求に応じてあるいは自発的に、コンテンツを表すデータ（以下、コンテンツデータという）をユーザ端末 100 へ送信する（S108）。

【0025】

ユーザ端末 100 がコンテンツデータを受信すると、ユーザ端末 100 の画面に図 4 のようなコンテンツが表示される（S110）。この例では、コンテンツは、画像 IMG、ボタン BT1、ボタン BT2、およびオブジェクト ST を含む。画像 IMG は、ユーザによって提供されまたは倉庫端末 500 の作業員によって撮影された保管物の画像データである。ボタン BT2 は、この保管物を販売対象とするために用意されたものである。オブジェクト ST は保管物の状態を示すメッセージである。

【0026】

ユーザ端末 100 のユーザは、仲介システム 10 を利用してこの保管物を他人に販売しようとした場合、ボタン BT2 を選択する。すると、ユーザ端末 100 から仲介サーバ 300 に販売要求が送信される（S112）。仲介サーバ 300 は、この要求を受信すると、リンク情報を生成して当該リンク情報に基づくコンテンツデータを生成する（S1

10

20

30

40

50

14)。生成されたコンテンツデータはユーザ端末100に送信される(S116)。コンテンツデータを受信したユーザ端末100は、該コンテンツデータに基づくコンテンツを表示する(S118)。

【0027】

図5は、このときユーザ端末100の画面に表示されるコンテンツの例を示す。コンテンツは、オブジェクトMSG1、およびリンク情報LNK1およびLNK2を含む。オブジェクトMSG1は、生成したリンク情報LNK1またはLNK2をSNSサーバ400へ提供するための操作の実行をユーザに促すメッセージを表示する。なお、このときオブジェクトSTには保管物品が売り出し状態にあることが表示されている。

【0028】

リンク情報LNK1は、仲介サーバ300内の所定のディレクトリに置かれたウェブページのURLであって、この商品についての情報が記述され、購入希望の受付けを行うためのウェブページへのリンクを表す文字列である。ユーザは、マウスや指などを用いてこの文字列をコピーする操作を行った後、所望のSNSサーバ400にアクセスして、自身が管理するコンテンツ(例えばブログ)の作成画面を開き、当該作成画面にて該文字列をペーストする操作することにより、該作成中のコンテンツに該文字列を挿入する。所定の操作をユーザが行うと、作成したコンテンツ(ブログ記事やツイートなどの投稿)がSNSサーバ400にアップロードされる。

【0029】

リンク情報LNK2は、例えばSNSサーバ400ごとに用意されるアイコン群であって、クリック操作やタッチ操作等によって、リンク情報や当該リンク情報に関連する情報をSNSサーバ400にアップロードするためのスクリプトを、ユーザにて指定された1以上のSNSサーバ400に送信する。

なお、この例ではリンク情報としてリンク情報LNK1およびLNK2が生成される例を示したが、リンク情報LNK1およびLNK2のうちどちらか一方のみが生成されてもよい。

【0030】

こうしてユーザがリンク情報LNK1やリンク情報LNK2に関する操作を行い(S120)、リンク情報自体あるいはリンク情報に関連するスクリプトがSNSサーバ400に提供されると(S122)、SNSサーバ400は所定のコンテンツを生成する(S124)。すなわち、投稿内容のSNSサーバ400へのアップロードが完了し、他のユーザ(投稿者のユーザも含む)が閲覧可能な状態になる。ユーザ端末900からの要求に応じて、SNSサーバ400は該生成したコンテンツを送信することにより(S125)、ユーザ端末900には当該コンテンツが表示される(S126)。

【0031】

図6(a)は、ユーザ端末900がSNSサーバ400にアクセスしたときに、ユーザ端末900の画面に表示されるコンテンツの例を示す。この例では、SNSサーバ400はブログサイトを提供するサーバであり、ユーザ端末100のユーザは予めSNSサーバ400に自分のブログページを持っているとする。

この例では、コンテンツは、エレメントEL1、EL2およびEL3で構成されている。エレメントEL1は、ユーザ端末100のユーザがブログ作成画面にて入力したテキストである。エレメントEL2は、ユーザ端末100のユーザが、管理ページにおいてコピー操作した文字列を貼り付け(コピー)し、クリック可能なテキストオブジェクトとしてユーザがブログページ内の好みの位置に配置したものである。エレメントEL3は、ユーザ端末100のユーザが、管理画面で表示されている画像IMG1に対してコピー&ペースト操作を行って配置したものである。

【0032】

図5の画面においてユーザ端末100のユーザがリンク情報LNK1を利用せずリンク情報LNK2を選択した場合は、該選択したアイコンに対応するSNSサーバ400用に記述されたスクリプトがSNSサーバ400にて実行されると、図6(a)に示す画面の

10

20

30

40

50

作成を支援するためのスクリプトがユーザ端末１００からＳＮＳサーバ４００に送信される。

【００３３】

第１の態様において、このスクリプトには、エレメントＥＬ１、ＥＬ２、およびＥＬ３を含む投稿内容全体が自動的に生成される命令が記述される。より具体的には、このスクリプトは、エレメントＥＬ１は定型文として予めＳＮＳサーバ４００に登録された文書のなかから選択する命令や、仲介サーバ３００が保有する情報に適宜アクセスしてエレメントＥＬ２やエレメントＥＬ３等の投稿内容を構成する情報を抽出する命令を含む。

【００３４】

第２の態様において、このスクリプトには投稿内容の一部のみを自動的に生成することが記述される。例えば、ユーザ端末１００のユーザがＳＮＳサーバ４００にアクセスしてブログ作成画面を開いた状態で、このスクリプトをＳＮＳサーバ４００が受信すると、ブログ作成画面上にエレメントＥＬ２およびエレメントＥＬ３のみが自動的に挿入され、ユーザはエレメントＥＬ１について入力したうえで、投稿の指示をＳＮＳサーバ４００に送信してもよい。要するに、このスクリプトはユーザ端末１００のユーザが自身の所有する保管物が販売対象となっていることをＳＮＳサーバ４００が提供する機能を利用して告知するための操作を支援するものであればよい。

【００３５】

図３に戻り、ユーザ端末９００のユーザは、例えば検索サイトを介して、あるいは予めこのユーザ端末１００のブログサイトを登録しておき定期的に閲覧することで、このブログページにアクセスする（Ｓ１２７）。ユーザ端末９００のユーザは、このページを閲覧すると、Ａさんの保管品が売りに出されたことを認識する。この商品に関心を持ったユーザ端末９００のユーザは、エレメントＥＬ２をクリックする。すると、ユーザ端末９００は、当該物品の購入を希望する者のために仲介サーバ３００が用意したコンテンツ（以下、「購入希望者用ページ」という）へ自動的にアクセスする（Ｓ１２８）。購入希望者用ページの例を図６（ｂ）に示す。このページには、オブジェクトＭＳＧ７１、オブジェクトＯＢ１、オブジェクトＯＢ２、およびオブジェクトＯＢ３が配置されている。オブジェクトＭＳＧ７１は、予め保管物品の登録時にユーザまたは倉庫端末５００の作業員によって作成され、記憶部３３０に記憶されている情報である。オブジェクトＯＢ１ないしオブジェクトＯＢ３は、購入希望の有無およびユーザ端末の９００のユーザが希望する購入価格（以下、「希望購入価格」という）をユーザ端末９００のユーザに入力させるためのオブジェクトである。

【００３６】

図６（ｂ）においてオブジェクトＯＢ２が指定されると、仲介サーバ３００はユーザ端末９００に対して、オブジェクトＭＳＧ７４を含む図６（ｃ）に示すコンテンツを提供し、購入希望が受け付けられたことをユーザ端末９００のユーザに通知する（図３での図示は省略）。同様に、仲介サーバ３００はユーザ端末１００に対して、購入希望者が出現したことおよび希望購入価格を通知する（Ｓ１３２）。図７は、購入希望者が現れたときに仲介サーバ３００からユーザ端末１００に提供されるコンテンツデータに基づいてユーザ端末１００の画面に表示された内容の例を示す。この画面は、オブジェクトＭＳＧ２、チェックボックスＣＫＢ１、入力フィールドＩＦ１を含む。オブジェクトＭＳＧ２は購入希望者が現れたことを示すメッセージであり、チェックボックスＣＫＢ１は購入希望に係る取引条件を受け入れる否かを入力するためのオブジェクト、入力フィールドＩＦ１は取引条件の変更内容を入力するためのオブジェクトである。

なお、このユーザ端末１００への通知は、購入希望者が新たに現れるかまたは同一の購入希望者が異なる希望購入価格が更新されるかするたびに実行される。

【００３７】

図３に戻り、ユーザ端末１００のユーザは、提示された価格に納得した場合において、「応諾」を選択すると、応諾したことを示す情報が仲介サーバ３００に送信される（Ｓ１３２）。一方、ユーザ端末１００のユーザが提示された価格での取引を望まない場合は、

ユーザ端末１００のユーザが希望する価格（以下、「希望販売価格」という）を入力フィールドＩＦ１に入力することができる。入力された情報は仲介サーバ３００に送信される。なお、応諾しない場合において、希望購入価格の入力を省略し、応諾しないことを示す情報のみを仲介サーバ３００に送信してもよい。要するに、ユーザ端末９００からの取引の申し出に対してユーザ端末１００からの何らかの応答が仲介サーバ３００に送信されればよい。

【００３８】

仲介サーバ３００は、ユーザ端末９００からの取引の申し出とユーザ端末１００から受信した応答内容とに基づいて、取引の成否を判定する（Ｓ１３６）。取引成立と判定した場合（具体的には、応諾を示す情報をユーザ端末１００から受信した場合または希望価格受信後にユーザ端末９００から希望価格を上回る価格が提示された場合）、仲介サーバ３００は、ユーザ端末１００に提供するコンテンツおよびユーザ端末９００に提供するコンテンツの内容を更新し（Ｓ１３８）、ユーザ端末１００およびユーザ端末９００に取引が成立したことを通知する（Ｓ１４０、Ｓ１４２）。

一方、取引が成立しないと判断した場合（具体的には、Ｓ１３２において希望販売価格を受信した場合や、ユーザ端末１００から希望販売価格を受信した後に当該希望販売価格を下回る希望購入価格の提示をユーザ端末９００のユーザから受けた場合）は、仲介サーバ３００は、ユーザ端末１００およびユーザ端末９００に取引が不成立であることを通知する（Ｓ１４０、Ｓ１４２）。

【００３９】

図８は、複数の購入希望者が現れている場合において、仲介サーバ３００にて生成されユーザ端末１００の画面に表示されるコンテンツの例を示す（図３のＳ１４０）。オブジェクトMSG3には、購入希望者の一覧および各購入希望者が提示した価格が表示されているユーザ端末１００のユーザは、オブジェクトOB4を選択して希望販売価格を修正することができる。

【００４０】

図９は、仲介サーバ３００にて生成され、購入希望を通知したユーザ端末９００の画面に表示される購入希望者用ページの例を示す。ユーザ端末９００のユーザは、取引が成立していないこと、および自分以外にも購入希望者が存在することを確認することができる（図３のＳ１４２）。加えて、ユーザ端末９００のユーザに希望販売価格の修正を行わせるためのオブジェクトOB5が表示される。

【００４１】

取引不成立の通知を受け取ったユーザ端末９００のユーザが、希望購入価格を修正して仲介サーバ３００に送信する、あるいは新たに購入希望のユーザが現れて希望購入価格を受信する（Ｓ１４６）たびに、仲介サーバ３００は取引の成否の判定を実行する。同様に、ユーザ端末１００のユーザから応諾の応答または修正した希望販売価格を受け取るたびに、取引の成否の判定を実行する（Ｓ１３６）。

【００４２】

Ｓ１３６において取引が成立したと判定された場合、ユーザ端末１００の画面には、図１０に示すようなオブジェクトMSG5を含むコンテンツが表示され、取引が成立した旨と売買価格とが通知される（Ｓ１４０）。また、ユーザ端末９００には図１１に示すようなオブジェクトMSG6を含むコンテンツが表示され、自身の購入が確定したことが通知される（Ｓ１４６）。そして、取引の実行（配送処理および決済処理）に必要な情報を入力するための入力フィールドIF2が表示される。ユーザ端末９００のユーザは、保管物の配送先として必要な住所、氏名と、決済処理に必要な情報（この例ではクレジットカード番号）を入力する。入力された情報は仲介サーバ３００に送信される（Ｓ１４７）。なお、購入希望者のうち取引に至らなかったことが確定したユーザのユーザ端末９００には、他の人との間で取引が確定したことが通知されてもよい。

なお、ユーザ端末９００のユーザが既に仲介サーバ３００への登録を行っており、ユーザ端末９００が仲介サーバ３００にアクセスする時点で当該ユーザに対する認証が完了し

ている場合は、当該ユーザは、住所、氏名と、決済処理に必要な情報を入力する必要はない。例えば、仲介サーバ300はユーザ端末900のユーザについての情報を記憶部330から読み出して入力フィールドIF2に表示し、自動入力された情報に対する当該ユーザの承認を受け付けるだけでもよい。

【0043】

続いて仲介サーバ300は、取引対象の保管物の配送を手配する。具体的には、ユーザ端末900から取得した情報（送り先）および保管物に関する情報（保管場所（つまり集荷場所としての倉庫の住所および名称）および物品の種類や区分など）を記憶部330から読み出し、配送情報を生成する（S148）。配送情報は配送管理サーバ200に送信される（S150）。配送管理サーバ200は、仲介サーバ300から受信した配送情報に基づいて配送伝票の作成、倉庫端末500への集荷を含む配送処理を行う（S152）。

10

【0044】

加えて、仲介サーバ300は、ユーザ端末900から提供された決済に関する情報に基づいて、金融機関のサーバと情報の授受を行うなどして、ユーザ端末900からの代金の徴収、ユーザ端末100へ代金の支払い、配送業者への配送料の支払い、および仲介サーバ300が受け取るべき手数料の徴収を行う。

【0045】

上記実施例によれば、物品の保管を管理するサーバとは異なるサーバが提供するネットワーク機能ないしコミュニティ形成機能を活用して、保管物品やそれが販売対象となっている事実を広く第三者に知らしめることができる。この際、販売希望者は保管物の管理ページから購入希望するオブジェクトを指定し、送られてきたリンク情報をコピー＆ペーストするかまたはアイコンをクリックするという簡単な操作を行うだけでよい。

20

加えて、販売者側のユーザも購入側のユーザも発送処理に関与する必要がない。さらに、発送処理に必要な住所・氏名等の個人情報、互いに相手に知られることがない。

また、倉庫の従業員などの取引当事者以外の人間によって保管物品の情報について生成される場合は、取引の信頼性が担保される。

【0046】

<その他の実施例>

また、図5～11に示すユーザインタフェースの構成はあくまで例示であって、例えばオブジェクトの種類や配置はこれに限られない。例えば、チェックボックスに替えてプルダウンメニューを採用してもよい。

30

【0047】

注文の方式や受け付けのタイミング、取引成立の判断方法、価格の指定方法、その他の取引の形態や方式については、上述の内容は一例にすぎず、例えば金融取引や各種オークションで用いられている既存の形態や方式を採用することができる。

例えば、ユーザの属性や過去の取引の履歴など、価格以外の要素を加味して取引成立を判定してもよい。具体的には、同一の物品に対して複数のユーザ端末900から当該物品の譲渡の依頼を受けた場合、価格に加え、記憶部330に記憶されているユーザ情報に基づいて、取引を成立させる一のユーザ端末900を決定してもよい。例えば、仲介サーバ300は、ユーザ端末100のユーザがユーザ端末900のユーザについての条件（例えば、年齢や性別からその物品を大切に使うと推定されるユーザや、仲介システム10における過去の取引状況から買い手と似たような趣味・嗜好を有すると推定されるユーザ）を指定しておき、希望販売価格と希望購入価格とが合致しなくても、その差が所定以内であれば、ユーザについて条件を満たす場合には、取引が成立したとみなしてもよい。

40

【0048】

要するに、本発明に係るシステムにおいては、サーバにて、第1ユーザ端末からの要求に応じて、物品の保管場所を登録するステップと、前記サーバが、第2ユーザ端末からの要求に応じて、前記物品の譲渡の依頼があったことを前記第1ユーザ端末に通知するステップと、前記第2ユーザ端末から前記サーバに前記物品の配送先を送信するステップと、

50

前記サーバが、前記第１ユーザ端末からの要求に基づいて、配送管理サーバに対し、前記物品を前記場所から前記配送先に配送するよう依頼するステップとが実行されていればよい。

【符号の説明】

【００４９】

１００・・・ユーザ端末、２００・・・配送管理サーバ、３００・・・仲介サーバ、４００・・・ＳＮＳサーバ、５００・・・倉庫端末、７００・・・ネットワーク、９００・・・ユーザ端末、３１０・・・情報処理部、３２０・・・通信部、３３０・・・記憶部、３２９・・・第１通信部、３２１・・・送信部、３２２・・・通知部、３２３・・・応答受付部、３２４・・・第２通信部、３２５・・・第３通信部、３１２・・・ユーザ認証部、
 ３１３・・・生成部、３１４・・・配送依頼部、３１５・・・決済処理部、３１１・・・登録部、３１９・・・制御部

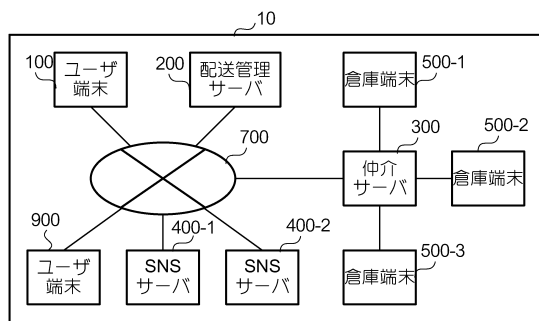
【要約】

【課題】ユーザ間で行われる物品の取引を支援する。

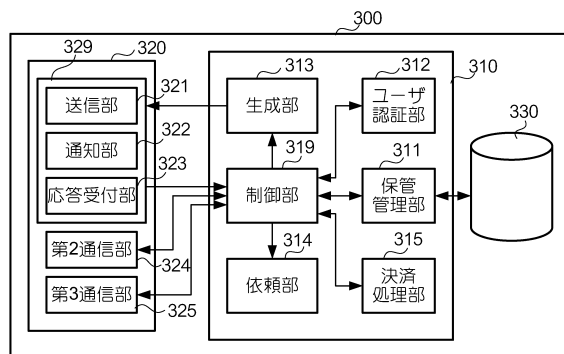
【解決手段】本発明にかかる仲介方法は、仲介サーバ（３００）において、保管されている物品と保管依頼者とを登録するステップ（Ｓ１０４）と、仲介サーバにおいて、第１ユーザ端末（１００）からの要求に応じて、前記物品についての情報へアクセスするためのリンク情報を生成するステップ（Ｓ１１４）と、該リンク情報を第１ユーザ端末に送信するステップ（Ｓ１１６）と、第１ユーザ端末から第２サーバ（４００）にリンク情報を送信するステップ（Ｓ１２２）と、仲介サーバが、物品の譲渡の依頼があったことを前記第１ユーザ端末に通知するステップ（Ｓ１３０）と、第２ユーザ端末（９００）から仲介サーバに物品の配送先を送信するステップ（Ｓ１４６）と、仲介サーバが、第１ユーザ端末からの要求に基づいて、配送管理サーバに対して配送を依頼するステップ（Ｓ１５０）とを有する。

【選択図】図３

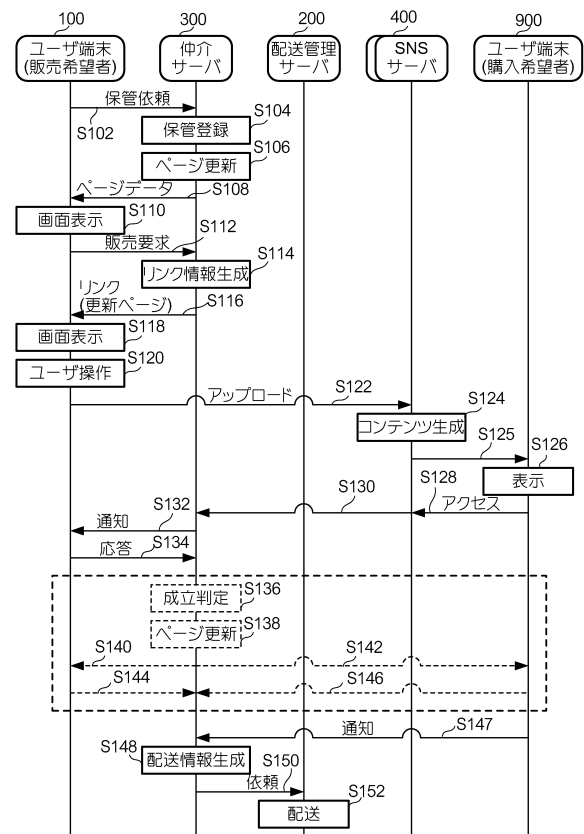
【図１】



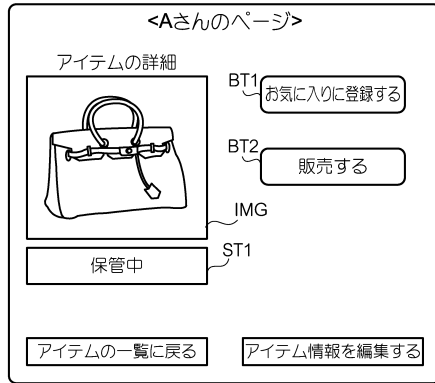
【図２】



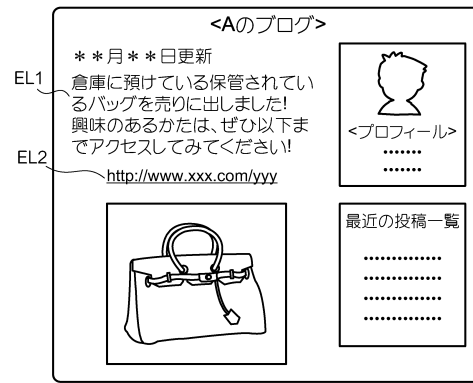
【図３】



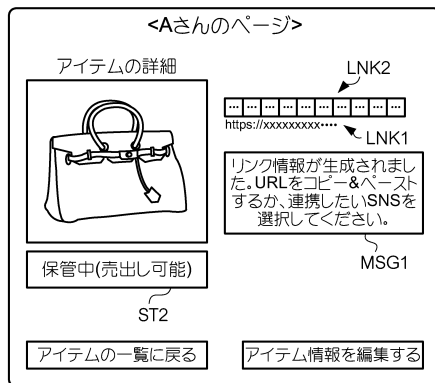
【図 4】



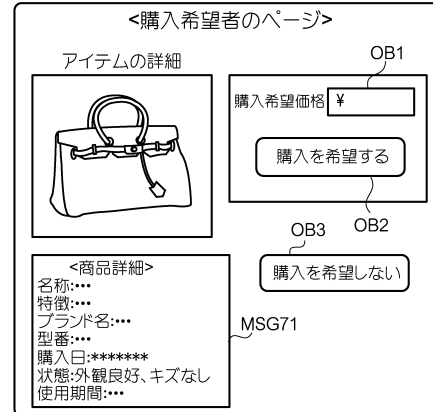
【図 6 (a)】



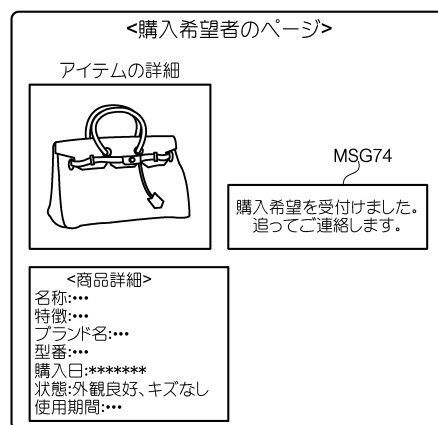
【図 5】



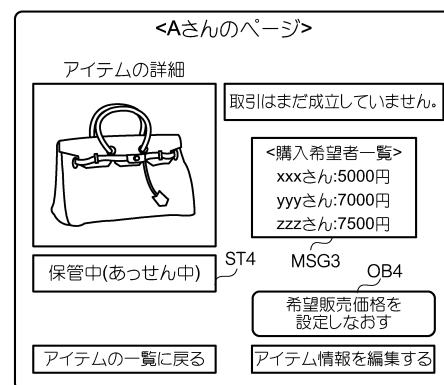
【図 6 (b)】



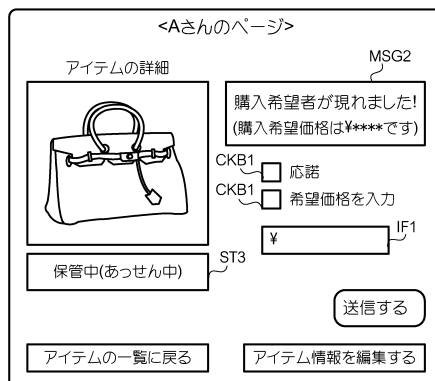
【図 6 (c)】



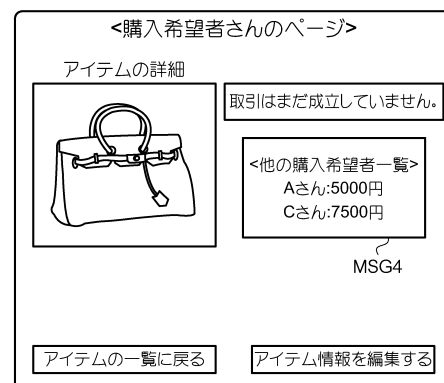
【図 8】



【図 7】



【図 9】



【図 10】

<Aさんのページ>

アイテムの詳細



保管中(取引成立)

取引が成立しました!

<決定価格>
7500円

MSG5

アイテムの一覧に戻る

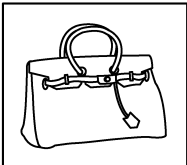
アイテム情報を編集する

ST5

【図 11】

<購入希望者のページ>

アイテムの詳細



あなたに決定しました!
おめでとうございます。

必要な情報を入力してください。

住所

氏名

クレジットカード番号

MSG6

IF2

フロントページの続き

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)

G 0 6 Q 1 0 / 0 0 - 9 9 / 0 0